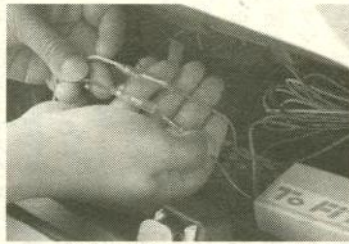


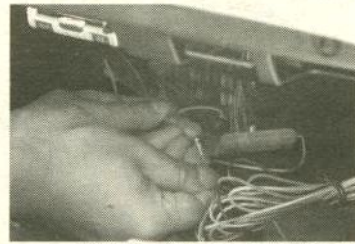
# 最新カー用品探検隊 見参!



**3** 黒線(アース線)をボディ金属面にねじ込まれている既存のねじやボルトに共締め(ボディアース)する。



**2** 緑線をイグニッションキーをACCに入れたとき、12Vが流れる電源線を分岐して接続する。



**1** 赤線をバッテリーの+ターミナルに接続、もしくは+12Vが流れている電源線を分岐(ヒューズ電源等)して接続する。



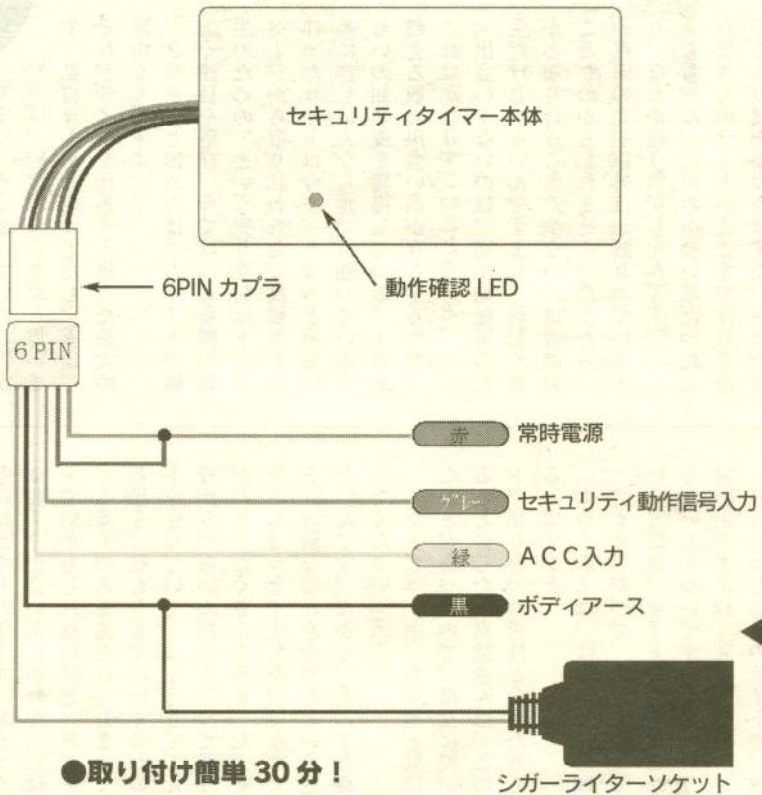
**4** 灰色線は「キーレス専用セキュリティー」等のサイレン出力線(動作時に+12Vが出力される線)を分岐して接続する。



**5** ドライブレコーダーの電源接続用のシガーライターコネクタを取り回してきて、シガーライターソケットに接続する。



**6** ドライブレコーダー(JS300 or TE300)の外部カメラを、室内を見通せる位置に設置後、動作確認して完成だ。



## ●取り付け簡単 30分!

接続する配線は常時電源/ACC/ボディアース/セキュリティ信号線の4本のみ。ドライブレコーダーの電源接続は、車両のシガーライターソケットに接続されているシガープラグを抜いて差し替えるだけでよい。

動作信号はセキュリティシステム動作時にサイレン作動など12Vが出力される線を分岐できる製品であれば、基本的に利用可能だが、現時点で動作検証が取れている製品は46-AAA02や46-3000など、同社製品に限られるため、それ以外の製品利用は自己責任となる。

さて、その動作だが、赤外線カメラを利用したことで真っ暗闇の中でも鮮明な映像を記録。犯人の素顔もキッチリ証拠として残るため、セキュリティシステムの信頼度が倍増したのだ。

セキュリティタイマーは走行中、駐車中という状況に応じてドライブレコーダーの電源を切り換える働きをするだけで、ドライブレコーダーそのものの制御を行うわけではない。

このため、接続するドライブレコーダーは電源オンと共に撮影を開始するタイプが必須。また、本体内蔵カメラは走行中、前方撮影という本来の役割を果たす必要があるため、外部カメラを接続できるタイプであることも条件となる。ツーフिटのJS300とTE300がこれに該当し、オプションの赤外線外部カメラを利用することで夜間撮影も可能となるのだ。

常時撮影タイプのドラレコが必須条件となる